

# Domaine Dureuil-Janthial

ドメーヌ デュルイユ ジャンティアル

コスパ最強、ワイン評論家が絶賛する自然派ドメーヌ

コート・シャロネーズ地区のリュリー村に本拠地を構えるデュルイユ・ジャンティアルは、この村で最も古い家族経営のドメーヌの1つで、その歴史は13世紀に遡ります。1994年に現当主のセリーヌとヴァンサン・デュルイユがドメーヌを受け継ぎました。総面積約20ヘクタールの自社畑は、コート・シャロネーズ地区を中心に、コート・ド・ボース、コート・ド・ニュイを含め約20以上のアペラシオンに跨ります。2001年から農薬の使用を止め、2008年までに自社畑の実質60%を有機栽培へ切り替え、月の満ち欠けに合わせた栽培・瓶詰を实践。2009年より、エコセールから正式に有機栽培認定を受けています。

デュルイユのワイン造りは、葡萄畑に始まります。毎年7月中旬頃までに土壌を掘り起こし耕作することで、土に空気を入れ、雑草を取り除きます。この他、必要であれば新芽や葉の摘み取りを行って適度に収量制限を行うことで、湿気を軽減し、病気やカビの発生を防いでいます。収穫は、葡萄が十分に熟すのを待ってから全て手作業で遅摘みし、ピュアな果実味に心地よいミネラル感、程良く良質な酸を湛えた美しく引き締まったハリのあるスタイルに仕上げています。

■テクニカル情報■ ドメーヌ所在地: フランス東部ブルゴーニュ地方コート・シャロネーズ地区リュリー村畑の総面積: 約20ha 所有アペラシオン: 20箇所 栽培: 有機栽培(2009年-2016年有機栽培認証取得) 土壌: 主に粘土・石灰岩質

【白ワインの醸造】 醸造: 手摘みで収穫し、破碎せず直接圧搾。24時間デブルバージュさせた後、新樽率20%のオーク樽(アリゴテを除く)に移して発酵した後、12ヶ月熟成させ、ステンレスタンクで6ヶ月熟成。月の暦に合わせて瓶詰。

【赤ワインの醸造】 醸造: 手摘みで収穫し、振動する選果台を2台使って選果・除梗し(年によっては除梗せず)、円錐台形の木桶で発酵。ルモンタージュ、ピジャージュは必要に応じて行う。新樽率20-30%の樽で12-18ヶ月熟成。月の暦に合わせて瓶詰。

■2022 ヴィンテージ情報 《ヴィノス/2024/1 掲載記事より抜粋 記者: ニール・マーティン》■

20年前にWine-Journalの執筆を始めてからずっと、デュルイユ・ジャンティアルのワインの素晴らしさを熱く語ってきた。ロンドンで開催されるブルゴーニュ試飲会でもヴァンサンのワインは常に注目の的となった。コストパフォーマンスの高い、安定感のあるワインで、ボースで食事をする際は必ず、彼のワインがオンリストになっているか確認している。私と同じような人は他にもいるだろう。

彼は年齢の割にかなり若々しく、登山やスキーが趣味ということもあって、体型をキープしている。

ヴァンサン: 「2022年は、霜や雹の影響もなく、非常に管理しやすい年でした。2017年に植樹したメルキュレの小区画を除いてブドウの樹へのストレスはありませんでした。素晴らしいヴィンテージになったと思います」

繰り返しになるが、ヴァンサンは私が数年前からコート・シャロネーズで最も信頼している造り手だ。彼のリュリーのキュヴェは緊張感と複雑性に富んだ秀逸なワインながらも、良心的な価格設定となっている。彼の赤ワインも美味しいが、どちらかと言えば白ワインの方に軍配が上がる。

■2022 ヴィンテージ情報 《バグハウンド/ #93/2024/10/10 掲載記事より抜粋》■

ヴァンサン: 「この年は、病害のリスクはほとんど無く、また霜の被害も皆無で、これまでで最も管理しやすかった年として記憶に残っています。生育期は、ブドウが順調に成長した2020年とよく似ていて、収量も同じく適量でした。シャルドネは約50hl/ha、ピノ・ノワールは約35-40hl/haでした。収穫は9月1日から16日まで行い、ブドウは全体的に完璧な状態でした。アルコール度数はどちらの品種も13.5-14%でした。白ワインについては、バトナージュを少しだけ施しました。赤ワインについては、除梗し、ブドウの皮が厚く、抽出がスムーズに進んだため、優しく醸造しました。2022年のワインは、白、赤ともに素晴らしいワインに仕上がったと思います。」

デュルイユのワインは一貫したスタイルで、実際に試飲してみたが、彼の言う通り、白、赤どちらも卓越したクオリティを備えている。2022年のワインは2024年4月に瓶詰めされた。また、白ワインについては、長期熟成が効くよう、敢えてやや還元的な状態で瓶詰めしているようだ。よって、若いうちに味わう場合は、飲む15分ほど前にデキャンターージュをお勧めしたい。

~White Wine~

## 2022 Bourgogne Aligoté

ブルゴーニュ アリゴテ

上代価格 ¥5,500 (税別)

JAN: 4543190184397

【辛口/白】 産地: コート・シャロネーズ地区リュリー東部(AOCブルゴーニュ・アリゴテ) 畑: パ・ド・ショシュール  
品種: アリゴテ100% 畑面積: 0.57ha 植樹: 1985年 土壌: 粘土・酸化鉄

★ヴィノス 86-88点: カスタードクリームやアプリコットの仄かなニュアンスが香るふくよかなアロマ。ややクリーミー質感を伴うピュアでバランスの良い味わい。繊細な酸と搾りたてのライムの風味が余韻に緊張感とスパイスのニュアンスをもたらす。上質なワイン。《飲み頃: 2024-2028年 | 2023/11 掲載》



## 2022 Bourgogne Blanc

上代価格 ¥7,200 (税別)

ブルゴーニュ ブラン

AN: 4543190184403

【辛口/白】産地:コート・ド・ボーン地区ピュリニー・モンラッシェ(AOCブルゴーニュ) 畑:ラ・コンブ(北向き)  
品種:シャルドネ100% 畑面積:1.12ha 植樹:1953年、1965年、2015年 土壌:粘土質 新樽率:20%

★ヴィノス 89-91点:香りは控えめだが時間とともに花開いていき、ライムやフレッシュな柑橘類のニュアンスが漂う。素晴らしい質感を備えたミディアムボディで、見事な骨格と深みがあり、レモングラスの風味が爽やかな余韻を生む。リージョンの白ワインのカテゴリーでは群を抜く一本。《飲み頃:2024-2030年 | 2023/11 掲載》

★バーグハウンド 87点★Outstanding(傑出したワイン):レモンライムやスライスしたリンゴ、仄かなペトロールの香りがふわりと広がる。ミディアムボディの素晴らしい味わいで、ボリューム感と力強さがある。クリーンで引き締まった長い余韻にほろ苦い柑橘類の皮のニュアンスが漂い、より一層爽やかさが際立つ。このカテゴリーの中では、非常にクオリティの高いワイン。  
《飲み頃:2026年以降 | #96 2024/10/10 掲載》



## 2022 Rully Blanc

上代価格 ¥9,500 (税別)

リュリー ブラン

JAN: 4543190184410

リュリー・ブランは、リュリー南部のグレスニーというクリマに属する複数の区画から収穫しています。畑の下層土は粘土石灰岩質で小石を多く含み、朝日が豊かに降り注ぐ東向き斜面を持ちます。

【辛口/白】産地:コート・シャロネーズ地区リュリー南部(AOCリュリー) 品種:シャルドネ100%  
畑面積:3.3ha 植樹:1949年、2007年 土壌:土石灰岩質で小石を多く含む 新樽率:20%

★ヴィノス 90-92点:グラスの中で仄かに蠟やリンゴの花を思わせるアロマが徐々に花開いていく。はっきりとした輪郭を持つ。口に含むと風味豊かなバランスの良い味わいが広がる。非常にエネルギーでオレンジ・シロップのようなフレッシュな柑橘類やネクタリンのニュアンスが焦点の定まった生き生きとした余韻を生む。

《飲み頃:2025-2035年 | 2023/11 掲載》  
他誌評価:★バーグハウンド 88点



## 2022 Rully Blanc Maizières

上代価格 ¥11,000 (税別)

リュリー ブラン メジエール

JAN: 4543190184427

メジエールとは、フランスの古語で、「石で造られた壁」を意味します。この名前の由来にはいくつかの説がありますが、多くの人は、ガロ・ローマ時代からこの畑の近くに残る廃墟とこの呼称を結び付けて考えています。温暖なマイクロクリマ下にあり、最初に収穫される区画の一つ。

【辛口/白】産地:コート・シャロネーズ地区リュリー中心部(AOCリュリー) 品種:シャルドネ100%  
畑面積:1.99ha/日当たりの良い東向き斜面 植樹:1997-2001年 土壌:粘土質 新樽率:20%

★ヴィノス 91-93点:非常に明瞭で落ち着いたアロマを持ち、白桃や柑橘系類を思わせるアロマが溶け合い、仄かに菩提樹のニュアンスが香る。バランスの良い味わいで、口に含むと、見事な張りが感じられ、ヴィラーージュよりもほろ苦さと鋭さがやや際立つ。かなり強い緊張感を伴う余韻。秀逸な一本。

《飲み頃:2025-2038年 | 2023/11 掲載》 他誌評価:★バーグハウンド 89点



## 2022 Rully Blanc Chênes

上代価格 ¥11,000 (税別)

リュリー ブラン シューヌ

JAN: 4543190184434

「シューヌ」とは、フランス語で樫の木(オーク)という意味で、ブドウが植樹される以前、この場所に樫の木の森が生い茂っていたことに由来を持ちます。冷涼なマイクロクリマ下にある区画で、最後に収穫される。

【辛口/白】産地:コート・シャロネーズ地区リュリー中心部(AOCリュリー) 品種:シャルドネ100%  
畑面積:1.01ha 植樹:1975年 土壌:白い石灰岩とマールが混合 新樽率:20%

★ヴィノス 90-92点:マジエールよりもふくよかなノーズだが、緻密さという点ではやや欠けるかもしれない。味わいはバランスが良く、繊細な酸が直線的に広がる。現時点では、やや還元的なニュアンスがあり、まっすぐに伸びる余韻が印象的。2-3年熟成させたほうが良いだろう。《飲み頃:2025-2036年 | 2023/11 掲載》

★バーグハウンド 89点★Outstanding(傑出したワイン):控えめで涼しげなノーズ。アカシアやグレープフルーツ、スパイス、仄かな樽の香りが溶け合う非常に優美でエレガントなアロマを持つ。豊潤かつ凝縮感のあるふくよかなミディアムボディの味わいは、ミネラル感を湛え、特に終盤に向けてその輪郭が際立ち、バランスの良い長い余韻へと続く。もう少し寝かせればより深みが増すだろう。こちらのワインも上質なヴィラーージュとして検討の価値あり。《飲み頃:2028年以降 | #96 2024/10/10 掲載》



## 2022 Rully Blanc 1er Cru Le Meix Cadot

上代価格 ¥13,000 (税別)

リュリー ブラン プルミエ クリュ ル メ カド

JAN: 4543190184441

メ・カド、ラ・ショーム、ラ・ベルジュリの複数区画から成るクリマで、アン・ゲンヌと呼ばれる2区画の村名畑の間に位置する一級畑。クリマの名前の由来は、昔の小作地制度にあり、ブルゴーニュ地方で「Meix」は小作地のことを指し、「Cadot」はゾヌ・エ・ロワールで非常によく見られる苗字のため、地主のことを指していると考えられます。この区画から採れるシャルドネは、ストレートで張りのある味わいの白ワインを生みます。

【辛口/白】産地:コート・シャロネーズ地区リュリー中心部(AOCリュリー・プルミエ・クリュ) 品種:シャルドネ100% 畑面積:1ha 植樹:1975年 土壌:粘土・石灰岩質 新樽率:20%



★**ヴィノス 92-94点**:リンゴの花や濡れた石畳を思わせる気品あふれるノーズ。その奥に仄かにメンソールが香る。口を含むと非常にバランスの良い味わいが広がり、見事な酸がピンと張り詰めた緊張感を生む。数日前にポーヌのレストランで飲んだ2020年よりも緻密で、勢いのあるエネルギー的な余韻が印象的。秀逸。

◀飲み頃:2025-2040年 | 2023/11 掲載▶

★**バグハウンド 90点**:このワインにも微かにフェノールのニュアンスが漂い、同じようにエキゾチックなアロマが香る。樽由来の風味があるものの、程よい。パンチの効いた豊かなミディアムボディの味わいは、瑞々しく、ふくよかで、レモンの皮を思わせる爽やかな余韻で締めくくられる。◀飲み頃:2028年以降 | #96 2024/10/10 掲載▶

## 2022 Puligny Montrachet Corvée des Vignes

上代価格 ¥20,000 (税別)

ピュリニイ モンラッシェ コルヴェ デ ヴィーニュ

JAN: 4543190184458

【辛口/白】産地:コート・ド・ポーヌ地区ピュリニイ・モンラッシェ北部(AOCピュリニイ・モンラッシェ・ヴィラーージュ) 品種:シャルドネ100% 畑面積:0.39ha 植樹:1956年、1958年 土壌:粘土質 畑:ムルソー側の日照量の多い、早熟な区画 新樽率:20%



★**ヴィノス 90-92点**:黄色の果実や蜜蝋のニュアンスが漂うノーズ。繊細な輪郭を持つがシャン・ガンほどの緻密さはない。バランスの良い味わいは、フレッシュで引き締まっている。直線状に広がる酸を備えたエレガントなスタイルで、余韻にネクタリンやレモンの皮のニュアンスが香る。2-3年後に開けたい。

◀飲み頃:2026-2038年 | 2023/11 掲載▶

★**バグハウンド 90点**★**Outstanding(傑出したワイン)**:豊かな花のアロマにアカシアや白いバラ、エキゾチックな紅茶、濃厚な柑橘類やリンゴのニュアンスがふわりと広がる。滑らかに繊細なミディアムボディの味わいは、ヴィラーージュワインにしては特筆すべき余韻の長さを誇る。若々しく引き締まった余韻には、程よい密度感があり、徐々に繊細な樽のニュアンスが表れる。こちらもお薦めしたい一本。◀飲み頃:2028年以降 | #96 2024/10/10 掲載▶

## ~Red Wine~

## 2022 Coteaux Bourguignons

上代価格 ¥5,000 (税別)

コトー ブルギニオン

JAN: 4543190184465

【辛口/赤】産地:コート・シャロネーズ地区リュリー東部(AOCコトー ブルギニオン) 品種:ピノ・ノワール90%、ガメイ10% 畑:ドメーヌ近くのリュリー村東部のリュウ・ディ:モドルー 畑面積:0.5ha 植樹:1970年 土壌:粘土質 新樽率:20%



■**コメント**■ 赤いベリー系果実やクローブ、花びらのアロマが香り立つ。生き生きとしたジューシーなミディアムボディで、瑞々しい果実味と程よいタンニンが特徴。

★**ヴィノス 87-89点**:マルベリーやラズベリーを思わせるやや濃密なアロマ。ミディアムボディの味わいで、黒色のプラムのような果実味と心地よいグリップ感が印象的。コトー・ブルギニオンには稀な洗練された余韻。お薦めしたい一本。◀飲み頃:2024-2028年 | 2023/11 掲載▶

## 2022 Bourgogne Rouge

上代価格 ¥7,000 (税別)

ブルゴーニュ ルージュ

JAN: 4543190184472

【辛口/赤】産地:コート・シャロネーズ地区(AOCブルゴーニュ) 品種:ピノ・ノワール100% 畑:プリモー・プリセイ村(面積:0.5ha/植樹:1969-2004年/粘土質)、ピュリニイ・モンラッシェ村(面積:0.4ha/植樹:1968年/粘土質) 新樽率:33%



★**ヴィノス 86-88**:ワイルドストロベリーやラズベリーを思わせるアロマの奥に仄かにマーマレードのニュアンスが漂う。口を含むと豊かな風味が広がるミディアムボディ。比較的しっかりとしたストラクチャーを備えたワインで、少し閉じ気味だが、一年程寝かせるとさらに美味しくなるだろう。◀飲み頃:2025-2030年 | 2023/11 掲載▶

★**バグハウンド 87点**:よく熟したレッドベリーのアロマがふわりと香り立ち、スパイスや土のニュアンスを帯びていく。素晴らしいミディアムボディの味わいで、ブルゴーニュ(リージョナル)でありながら、見事なボリューム感とふくよかさを備えている。若々しく引き締まった余韻に仄かに野趣を感じる。このカテゴリーにしては非常にクオリティの高いワインで、3-5年の熟成でより素晴らしい味わいに変化するだろう。◀飲み頃:2027年以降 | #96 2024/10/10 掲載▶

## 2022 Rully Rouge

上代価格 ¥9,500 (税別)

リュリー ルージュ

JAN:4543190184489

【辛口/赤】 産地:コート・シャロネーズ地区リュリー村(AOCリュリー) メ・カド(一級畑)、アン・ロゼイ、モンターニュ・ド・ルムノの3区画より収穫されたブドウを使用 品種:ピノ・ノワール 100%  
畑:メ・カド(面積:1.3ha/植樹:1978年/粘土質) アン・ロゼイ(面積:1ha/植樹:1974年/粘土石灰岩質)  
モンターニュ・ド・ルムノ(面積:0.3ha/植樹:1980年/石灰質) 新樽率:33%



★ヴィノス88-90点赤果実と黒果実のアロマが溶け合い、その奥にポプリのニュアンスが仄かに香る。味わいは、バランスが良く、弾けるような赤果実の風味が直線的に広がり、やや引き締まった余韻へと続く。2度目の冬を迎える頃には、ふくよかさや厚みが増してくるだろう。秀逸なワイン。《飲み頃:2025-2033年 | 2023/11 掲載》

★バーグハウンド 88点:掘り起こしたばかりの土やプラム煮を思わせる熟したアロマを仄かな樽香が包み込む。しなやかな質感を伴うミディアムボディの見事な味わい。特に濃厚というわけではないが、魅力的なワインで、野趣を帯びた余韻が長く続く。短期~中期の熟成が効く。《飲み頃:2027年以降 | #96 2024/10/10 掲載》

## 2022 Rully Rouge En Guesnes

上代価格 ¥11,000 (税別)

リュリー ルージュ アン ゲンヌ

JAN:4543190184496

メ・カドの一級畑で隔てられた2区画の畑がこの村名リュリーディに属しています。ゲンヌとは、「湿地」という意味を持ち、この区画に豊かな水があることを暗示しています。



【辛口/赤】 産地:コート・シャロネーズ地区リュリー村南部(AOCリュリー) 品種:ピノ・ノワール 100%  
畑:1級畑メ・カドに隣接する2区画(畑面積:計1.34ha/植樹:1950年・1978年/粘土質) 新樽率:33%

★ヴィノス88-90点:還元香があるため香りが分かりづらい。ミディアムボディの味わいで、しっかりとした骨格を持つ。生き生きとした黒果実にオレンジの果皮のニュアンスが漂う。現時点では、メジエールのほうに軍配が上がる。《飲み頃:2026-2034年 | 2023/11 掲載》

★バーグハウンド 89点★Outstanding(傑出したワイン):プラム煮やスミレ、紅茶を思わせる熟したアロマにリュリーのニュアンスが漂う。ストラクチャーのあるがっしりとした重厚な味わいで、中盤は濃密。野趣を帯びたシリアスな余韻に長期熟成に耐えうる見事な力強さを感じる。《飲み頃:2030年以降 | #96 2024/10/10 掲載》